

# 【小川自治会自主防災隊】 下小川支隊通信

2023年度 第2号（通算第17号）

発行日 2023年 8月11日

制作 下小川支隊 支隊長会

日頃より防災活動にご協力頂きありがとうございます。今年度の下小川支隊活動計画にもとづき、7月30日(日)に、参加希望者によるスタンドパイプ訓練を行いました。本稿ではその概要について報告します。また、防災隊全体での9月～10月の防災訓練について紹介します。

## ●スタンドパイプ訓練の概要報告

訓練は、新防災隊責任者（自治会班長）や当日飛び入りのご家族ら約20名が参加し、町田消防署の指導の下、暑さ対策に配慮しながら、15時30分から約1時間、下小川公園西側の路上で行いました。

①はじめに、消防署指導員から、消火栓マンホールの開け方、スタンドパイプの消火栓への取り付け方、放水弁の開閉方法、ホースや筒先の接続方法などの、スタンドパイプ消火器具の組み立て・操作法について説明を受けました。



スタンドパイプの消火栓接続方法の説明

②次に、地震発災を想定した総合消火訓練として、7名の選抜者による消火隊を組み、消火器による初期消火からスタンドパイプの取り付け・操作・放水までの一連の消火訓練を行いました。



選抜者による地震発災を想定した総合消火訓練

③最後に、参加者全員が順番に火点を想定した的への放水を行い、ホース筒先の持ち方や放水の仕方を体験訓練しました。



参加者全員による放水体験訓練

訓練終了後、町田消防署 藤原課長より、「本日は、このような自主訓練を開催頂き感謝いたします。関東大震災から丁度100年経ち、当時は20万棟以上が火災で焼失したが、同様の地震が起きた場合、今でも10万棟近くの火災が想定されており、地域毎での自主防災活動が重要になります。今後も継続した活動をお願いします。」旨の総評を頂きました。

当訓練は、コロナの影響で4年振りの開催となりましたが、参加された方、ご協力有難うございました。震災時を主に、火災はいつどこで発生するか分からないことから、出来るだけ多くの自治会員がスタンドパイプの取り扱い方を習得しておくことが重要となります。訓練は次年度以降も適宜計画しますので、引き続き、参加・ご協力お願いいたします。

## ●9月以降の防災訓練の予定

9月以降に予定されている本部主催の防災訓練は以下の通りです。各詳細は、本部発行の「防災隊便り」等で別途お知らせします。

引き続き、ご協力よろしくお願いいたします。

○安否確認旗出し訓練【9月3日(日)と来年3月17日】

・首都直下地震を想定。地震発生9時30分に『無事です』の旗を玄関、門扉等に掲げる。

○スタンドパイプ合同訓練【9月24日(日)】

・柳谷戸公園にて、各支隊からの選抜者による5支隊合同訓練を実施。

○総合防災訓練【10月22日(日)】

・蜂谷戸公園で実施。起震車による地震体験、初期消火訓練、AED取扱い訓練などを予定。

以上